

9 認知症の経過と対応・サービス

～予防から認知症の進行に合わせて対応していくことが大切です～

認知症の進行	健康なレベル	軽度認知障害 (MCI)	認知症		
			軽度	中等度	重度
本人の様子		<ul style="list-style-type: none"> ●物の忘れが見られ、人や物の名前が思い出せない事が時々ある ●日常生活は自立している 	認知症の疑い <ul style="list-style-type: none"> ●つじつまが合わない話をする ●同じ事を何回も聞く ●同じものを何度も買って来る ●料理の片付け、計算等ミスが目立つ ●『物を盗られた』と言うようになる ●不安・イライラ・うつ的になる 	誰かの見守りがあれば日常生活は自立 <ul style="list-style-type: none"> ●お薬の管理ができない ●使いなれた道具の使い方が分からなくなる ●着替えや入浴を嫌がる ●道に迷うようになる 	日常生活に手助け・介助が必要 <ul style="list-style-type: none"> ●トイレの失敗が多くなる ●家族の顔や名前が思い出せなくなる ●反応が鈍くなり言葉が減る ●運動機能が低下し、食べたり歩いたりが困難になる
家族の心構え		<ul style="list-style-type: none"> ●社会参加や趣味活動への働きかけ ●本人がどのような終末期を迎えるか家族間で相談しておく ●いつもと様子が違うと思ったら早めに相談する(P6～10) 	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症を正しく理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ●介護サービスを上手に利用する ●家族自身の体調管理 	<ul style="list-style-type: none"> ●緊急時の対応を整理しておく ●どのような終末期を迎えるか元気なうちに家族などへ希望を伝える
予 防	いきいき体操(P11)、地域いきいき教室(P11)、特定健診、健康講座、まち老人クラブ(P14)、ふれあい・いきいきサロン(P11)、いきいき介護ボラン		かどセルフチェック(健康介護まちかど相談薬局 P11)、認知症カフェ(P12) ティアポイント事業(P11)		
生 活	配食サービス、食材・日用品配達サービス、シルバー人材センター、成年日常生活自立支援事業(あつぷるハート)(P15)		後見制度(P16)、十和田市消費生活センター(P16)		
医 療	かかりつけ医 認知症サポート医、もの忘れ外来(P8)、もの忘れ相談(P8)、訪問看護、訪問診療		認知症疾患医療センター(P8)、若年性認知症サポートセンター(P9)		
介 護	認知症初期集中支援チーム(P12)		介護の相談窓口：地域包括支援センターなど(P6～10)、認知症カフェ(P12)、訪問介護、訪問入浴、訪問リハビリテーション、通所介護、訪問型、通所型サービス(介護予防・日常生活支援総合事業)		
住まい	介護の相談窓口：地域包括支援センターなど(P6～10)、認知症カフェ(P12)、訪問介護、訪問入浴、訪問リハビリテーション、通所介護、訪問型、通所型サービス(介護予防・日常生活支援総合事業)		認知症の人を抱える家族のつどい(P15) 通所リハビリテーション、住宅改修、短期入所、福祉用具貸与・販売等(介護保険サービス) 家族介護慰労事業、家族介護用品支給(紙おむつ)		
見守り 安否確認	自宅、軽費老人ホーム(介護保険外サービス)、有料老人ホーム、サービス		付き高齢者向け住宅、認知症対応型グループホーム、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム		
	福祉安心電話、民生委員や地域による見守り支援、避難行動要支援者事業、救急医療情報キット(P15)、あおもり医療・介護手帳(P15)、認知症サポーター養成		高齢者あんしん見守り協力隊(P14)、高齢者あんしんカード(P14) 講座(P14)、徘徊高齢者等支援事業(P13)、認知症高齢者等位置情報通知サービス利用助成事業(P13)		

※修正：令和5年5月